

地域生活を支えるための福祉人材の確保・育成について

1 人材育成と確保に向けた取組

(1) 明石市介護・障害福祉分野資格取得支援助成金 人材育成

- 令和6年度から助成対象の資格を21から25に拡充(そのうち、障害福祉分野に関する資格として、同行援護従事者研修、行動援護従事者研修、全身性障害者移動介護従事者研修を追加)
- 障害福祉施設からの申請状況について(令和8年1月8日現在)

対象研修・試験	申請件数
介護職員初任者研修	9 件
介護福祉士実務者研修	7 件
強度行動障害支援者養成研修	34 件
介護福祉士国家試験	10 件
社会福祉士国家試験	1 件
精神保健福祉士国家試験	1 件
同行援護従事者研修	19 件
行動援護従事者研修	15 件
合計	96 件

(2) 各種研修の実施 人材育成・定着

① 福祉現場で働く 新人・若手職員フォローアップ研修【令和7年度新規事業】

- 令和7年度:令和7年8月29日実施(集合型:参加者40名)。
- 市内福祉事業所の新人・若手職員を主な対象者として、ビジネスマナーや権利擁護といった基礎的な内容についてグループワークを取入れて実施。
- 基礎的な学習と、事業所間の職員どうしの横のつながり構築が狙い。

② マネジメント研修(今年度テーマ:カスタマーハラスメント)

- 職員が育ち、定着する職場づくりを目的に、テーマを定めて研修を実施するもの。
- 令和7年度:令和8年1月30日実施(オンライン:69事業所115名申込)。

③ サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修(基礎・実践)について

- 県から指定を受けて令和4年度から実施。
- 今年度、明石市実施の研修について受講対象者なし(兵庫県実施研修落選者なし)。

(3) 市単独の就職フェアの実施 人材確保

- 「福祉のしごと就職フェアin明石」を令和4年度から開催し、今年度で4回目。
- 市内28法人が出展(うち障害者(児)福祉施設は14施設)。

- 来場者 62 名、延べブース訪問者数は 182 名。
- 令和7年度から、参加事業所に採用アンケートを実施。
今年度は4社で5名の採用に至ったことを確認。

(4) 福祉のしごと魅力発信事業 **人材確保**

- 福祉の仕事の魅力を多くの人に知ってもらうため、福祉施設職員が働く様子や、就職に至った動機などについて、明石商業高校福祉科の生徒が取材を行い、映像制作のプロにより魅力発信動画として制作。産官学共創の取組み。
- 障害福祉部門として、明石市立ゆりかご園(児童発達支援)、社会福祉法人明桜会 サポートセンター曙(生活介護・就労継続B型)の動画を制作。



2 その他の取組 (施設整備)

(1) 障害者グループホーム新規開設推進事業補助金(市単補助金)

- 障害者グループホームを新たに開設する事業者に対し、500万円を上限に補助
- 令和7年度申請数:5施設(令和8年2月1日現在)

(2) 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金(国庫補助金)

- あかし障害福祉推進計画を踏まえ、必要性が高いと判断される施設等の整備に対し、補助対象経費の3/4を上限に補助(うち、2/3は国庫から支出)
- 令和7年度申請数:1施設(令和8年2月1日現在)

3 今後の取組 (予定)

実施内容	方向性	取組 (予定)
資格取得支援助成金	維持	▶ 今年度の水準を維持
各種研修の実施	拡充	▶ 更なる人材育成・定着に向けて、新たな研修を実施予定 ・中堅職員対象の研修 ・カスタマーハラスメント研修 (一般職員対象)
市単独の就職フェアの実施	維持	▶ 例年同様6月頃の実施を予定
施設整備関連	維持	▶ 市単補助、国庫補助ともに今年度の水準を維持

介護・障害福祉分野の

研修・試験の費用を助成します！

明石市内の福祉施設で働くあなたを応援

最大 **6** 万円

法人から申請
職員に支払った受講費の

4分の3

個人で申請
受講費の

2分の1



介護分野

介護職員初任者研修
介護福祉士実務者研修
生活援助従事者研修
喀痰吸引等研修 1号、2号、3号

ケアマネ

介護支援専門員実務研修
主任介護支援専門員研修
介護支援専門員再研修

令和7年度も
介護職員初任者研修は

全額 補助 ※上限10万円

認知症関連

認知症介護基礎研修
認知症介護実践者研修
認知症介護実践リーダー研修
認知症対応型サービス事業開設者研修
認知症対応型サービス事業管理者研修
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

国家試験

介護福祉士
社会福祉士
精神保健福祉士
公認心理師

障害福祉分野

強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）
居宅介護職員初任者研修
重度訪問介護従事者要請研修
医療的ケア児等支援者養成研修
医療的ケア児等コーディネート養成研修
同行援護従事者養成研修（一般・応用）
行動援護従事者養成研修
全身性障害者移動支援従事者養成研修

詳しくはこちらから

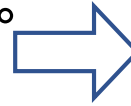


明石市 福祉局 福祉政策室
福祉施設支援課
電話：078-918-5262
FAX：078-918-5114

mail:shisetsujinza@city.akashi.lg.jp

個人の申請はオンラインが便利です。

オンラインでは申請書のダウンロード不要。
必要な書類は写真を撮って送ることができます。



<申請期限> 研修修了証・試験結果通知書に記載の日から1年以内

<提出書類>

個人で申請

研修	国家試験
共通 <input type="checkbox"/> 交付申請書（市HPからダウンロードできます） <input type="checkbox"/> 在職証明書（3ヶ月以内発行）か申請日を含む雇用証明書*1の写し ※ 必ず <u>明石市内の事業名</u> が記載されているもの	
+ <input type="checkbox"/> 支払者、研修名、支払額がわかる領収書などの書類の写し <input type="checkbox"/> 研修修了証の写し	+ <input type="checkbox"/> 受験票の写し（氏名、受験番号がわかる） <input type="checkbox"/> 試験結果通知書の写し

法人が申請

研修	国家試験
共通 <input type="checkbox"/> 交付申請書（市HPからダウンロード） <input type="checkbox"/> 対象従事者と受講料等の一覧表（市HPからダウンロード） <input type="checkbox"/> 在職証明書（3ヶ月以内発行）か申請日を含む雇用証明書*1の写し ※ 必ず <u>明石市内の事業名</u> が記載されているもの	
+ <input type="checkbox"/> 研修修了証の写し <input type="checkbox"/> 法人が研修費用を支払ったことがわかる書類の写し 法人名、研修名、支払額がわかるもの	+ <input type="checkbox"/> 受験票の写し（氏名・受験番号がわかる） <input type="checkbox"/> 試験結果通知書の写し <input type="checkbox"/> 法人が受験料を支払ったことがわかる書類の写し 法人名、試験名、支払額がわかるもの
※受講者が支払ったあと、法人から受講者に支払った場合は、法人から受講者に支払ったことがわかる、給与明細や受領書の写し	

*1 雇用契約書の雇用期間が「期間を定めず」などの記載で、申請日現在、在職していることが証明できない場合は「在職証明書」の提出をお願いします。

高 校 生 の 現 場 体 験 に 密 着 !!

福 祉 の し ご と 最 前 線



働いている人の実際の声と、
高校生が体感した生の魅力をお届けする珠玉の3部作です。
明石市ホームページでぜひご覧ください！

 / @明石市役所

福祉の現場 ×  明石市 ×  明石商業高校福祉科が
がちりタッグを組んで福祉のしごとの魅力を動画  で紹介します！

- ①「笑顔」で家族をまるごと支援
～児童発達支援センター～
- ②「働く」を支えるために「働く」
～就労支援事業所～
- ③人生最後の日々を最高の色に
～特別養護老人ホーム～



👉 動画の視聴はこちらから！

【お問い合わせ先】
明石市 福祉局 福祉政策室 施設人材育成課
電話番号：078-918-5262（直通）
FAX番号：078-918-5294
メール：shisetsujinzai@city.akashi.lg.jp

2025.01.01 明石市福祉のしごと魅力発信事業

【2025年度 明石市 マネジメント研修】

カスタハラを学ぶ

2026. 1.30 (金) 14:00-17:00

参加費無料
オンライン開催

こんなお悩みはありませんか？

- ✓ ご利用者の要望にどこまで応えれば...
- ✓ 事業所全体でどのように対策すれば...
- ✓ クレームとの境界線が分からない...



研修詳細

本研修は管理者を対象にしており、カスタマーハラスメントの基礎知識、具体的な防止策や対応策を学ぶことができます。

不当な要求への対処法を知ることで、ご利用者様との良好な関係構築につながり、職員が安心して働くことができます。

講師



つじ きみこ
辻 貴美子

「受講者主役」の研修をモットーに、ご受講者さまの行動変容と現場の好影響につながるような研修を目指します。

申込方法

期日：1.7 (水)



[お問い合わせ先]

明石市役所 福祉施設支援課



078-918-5262

shisetsujinzai@city.akashi.lg.jp

福祉現場で働く

新人・若手職員

フォローアップ研修



明石市内の
事業所限定!

～福祉現場の職員として必要な【基本】が学べます～

【主な対象者】

- ◆ 新入社員(高卒・大卒1年目の職員)
- ◆ 福祉職場で働きはじめてから2、3年目の職員



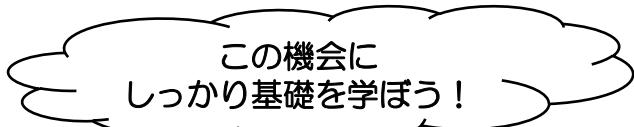
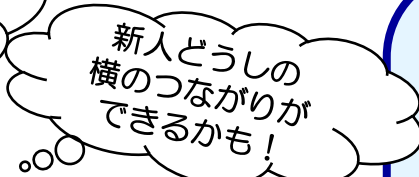
【主な研修内容】

※詳しくは裏面に記載しています。

- ◆ 社会人としてのマナー・コミュニケーションスキル習得
- ◆ 福祉に携わる職員に求められる権利擁護と虐待防止の基本

※すべて介護・障害分野に関わらず受講していただける内容になっています。

**グループワーク中心の講義です。
新人どうしで意見交換しながら学びましょう!!**



主催：明石市役所
開催場所：ウィズあかし8階
明石市東仲ノ町6-1
開催日：2025年8月29日(金)
開始時間：9時20分～
(受付開始：9時10分～)



※申込はこちらから

申込締切：7月7日(月)まで

【お問い合わせ先】

明石市福祉局福祉政策室福祉施設支援課

TEL:078-918-5262 FAX:078-918-5114

mail : shisetsujinzai@city.akashi.lg.jp

主な研修プログラム（予定）

※基礎編・応用編はヒューマンスキルの専門講師、福祉編は福祉制度の専門講師が担当します。

コース	学習項目	概要	研修形式	所要時間計 (予定)
基礎編	①業界理解	各種データをもとに業界の現状を学びつつ、どのような人材が求められており、どのような人材を目指せばよいのか、イメージをつける。	グループ ワーク 中心	1.5時間
	②社会人基礎力	社会人に必要な基礎力のチェックを行いつつ、どんなスキルが求められているかを認識する。		
	③ビジネスマナー	報連相、指示の受け方など、ビジネスパーソンとして必要最低限のマナーを習得する。		
応用編	①接遇マナーの基本	マナー5原則(「表情」「あいさつ」「身だしなみ」「言葉遣い」「態度・所作」)について学び、現場でどう立ち振る舞えばよいのかを理解する	グループ ワーク 中心	3時間
	②職場内コミュニケーション	職場内で信頼関係を構築するためのコミュニケーションスキルを習得する。特に「聴く」「伝える」を重点的に扱う。		
福祉編	①振り返り	基礎編・応用編の振り返り、福祉業界との関連性を深く理解する。	グループ ワーク 中心	2.5時間
	②虐待防止・権利擁護	・虐待の定義と種類を理解し、法令や制度に基づく適切な対応を学ぶ ・権利擁護の視点から支援を考える		

- ・研修は集合形式で全ての学習項目でグループワークを行います。
- ・学習項目は変更になることがあります。
- ・研修時間は休憩を含めて8時間程度を予定しています。
- ・申込みは事業所ごとにまとめて申請をお願いします ※1回の申請で5人まで申込みできます。

申込期間:令和7年6月13日(金)から令和7年7月7日(月)

申込フォームURL : <https://logoform.jp/form/eHmi/1022787>

- ・募集人数:35人程度を予定。

※応募多数の場合は勤務年数が浅い方より選考させていただきます。